

どんな音が、聴こえる？



音楽が聴こえるひろふ動物園展

～メモリアルドッグのお友だち～

月日 2022年12月7日(水)―12日(月) 入場無料

時間 9:00―17:00 金・土は21:00まで

(最終日12日は16:30まで)

場所 弘前れんが倉庫美術館 2階市民ギャラリー

※駐車場は近隣の有料駐車場か公共交通機関をご利用ください。

音楽が聴こえるひろ心動物園展～メモリアル・ドッグのお友だち～によせて

弘前大学教育学部附属中学校 美術科教諭 蒔苗靖子

2015年からはじまった「ひろ心動物園展」は、「美術の授業の共同制作による作品」の展覧会です。2年生で制作した作品を、3年生の夏休みに地域の施設やギャラリーで展示するというスタイルで行われてきた、「美術の授業題材」の一つです。その間、段ボールで遊園地を作った学年もあれば、本年度のように個の作品による「多版多色木版によるまんじ札」を展示した学年もある、ということになります。ただ、下の学年の生徒は別の授業課題をしながら、先輩の手によって針金の物体がどんどん動物の姿になって行く制作過程を見て「自分たちのときは何の動物を作ろうかな」と、当然動物を作るものだと思っているようです。その学年ごとに、色んな思い出がありました。動物たちは地域の展覧会で披露されるだけでなく、4月の入学式、卒業式などあらゆる行事で活躍し、昨年から遂に、＜弘前城菊と紅葉まつり＞の追手門・東門前にも展示されるようになりました。

今年の3年生は「多版多色木版によるまんじ札展」を8月に開催したばかりでしたが、有り難いことに今年もそのお話をいただいたため、急遽、制作をすることになったのです。「ではテーマをどうしよう？」と考えていた矢先、奈良美智さんがNHKの番組に出演されており、そこで「音楽」というテーマがひらめきました（奈良さんとの出会いについては、月刊『弘前』12月号に掲載させていただきました）。コロナ禍で入学式を迎え、音楽の授業では合唱や楽器の演奏すらできずにいた学年だからこそ強い作品ができるに違いないと確信し、今回のテーマに至った次第です。

弘前れんが倉庫美術館の2階では＜A to Zメモリアル・ドッグ＞のお友だちとして、37体の動物たちが歌い、音楽を奏でていきます。ご鑑賞される皆様それぞれの心で、色んな音を、そして美術と同じ表現としての「音楽の力」を感じ取っていただければ幸いです。展示することができる今に感謝し、この展示にご協力してくださった全ての方々と歴代制作してきた卒業生、そして少ない時間の中で汗水流して一生懸命制作してくれた附属中学校3年生全員のかげがえのない努力に、心より敬意を表します。

